

## 編集後記

▼昭和天皇の崩御というニュースは世界各国を走り抜けました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

『平成』という新たな時代を、本当に平安な世たらしめるべく、私たちひとりひとりが心の精進をおこたってはならないと感じます。

▼海外での研修を終えた留学僧が相次いで帰国されました。十二月にはスリランカより中野良教師が、アメリカからは島崎義孝師と岩波弘道師が無事帰国の報告をされております。帰国留学僧諸師の、日本における今後の御活躍に期待します。

▼長い間連載していただいております東隆真先生の『禪と衣食住』が、

この度単行本になって発行される予定です。長期にわたって御執筆いただきましたまして、本当にありがとうございます。

▼小倉玄照先生の「くらしの中で読む『正法眼蔵』」の連載が本号から新たにスタートしました。どうぞご期待下さい。

▼錦戸新観先生の力作になる大日如来が無事開眼のはこびとなり、いよいよ不動殿も内実共に充実いたしました。折にふれ親しくご参詣くださいますようお願いいたします。

▼去る二月二十一日、立正佼成会大聖堂において、庭野日敬師と当山住職の対談が行われました。今年は善光寺開創二十周年に正当し、さまざま記念事業が行われております

が、次号は二十周年の記念号とする予定が組まれておりますので、この対談を特集して詳しくお伝えしたいと思えます。宗派を越えた活動の一端をご理解いただけたら幸いです。

▼三月十八日、恒例の彼岸会が行われました。あたたかな春の陽射しに誘われての参拝は、ご先祖さまと共に静かに六波羅蜜を振り返るよい機会でもありました。

▼暖冬の異変はまっ先に植物が感じ取るのでしょうか。黒姫山のこぶしが咲かないと伝え聞きます。(小熊)

成寿 第十二号

平成元年四月十日発行

発行所 成寿山善光寺

横浜市港南区日野町一六〇四

電話 〇四五(八四五)一三七一

印刷所 神奈川新聞社出版局



## スミレ観音

銃弾が土砂をはね  
削裂した砲弾は大地をゆする  
水びたしの壕の中から  
暗い雨空を見上げるとき  
壕のふちにしがみ付いた白いスミレ  
わずかの根も雨足に叩かれ  
間もなくずり落ちそう  
雨にぬれて白いスミレの美しさ  
雨も銃弾も、そして砲弾も  
スミレには無縁のもの  
今をただ美しく咲く  
ああ、あの時のスミレこそ  
観世音菩薩だったのか



横溪善光寺